

Twilight Museum Concert

# トワイライト ミュージアムコンサート



日時 平成28年8月20日(土) 19:00開演

入場  
無料  
(申込不要)

場所 福岡市博物館 1階 グランドホール  
(福岡市早良区百道浜3丁目1-1)

## 出演

窪田脩子	ピアノ	大山佳織	ヴァイオリン
黒葛原康子	ヴァイオリン	大山平一郎	ヴィオラ
原田哲男	チェロ	音部幸治	コントラバス

## プログラム

ハイドン 弦楽四重奏曲第78番 変ロ長調 Op. 76-4 “日の出”から 第1楽章  
ハイドン 弦楽四重奏曲第67番 二長調 作品64-5 “ひばり”から 第1楽章

大山佳織 黒葛原康子 大山平一郎 原田哲男

サン・サーンス 動物の謝肉祭から

窪田脩子 大山佳織 黒葛原康子 大山平一郎 原田哲男 音部幸治

シューベルト ピアノ五重奏曲 イ長調 D667から1245楽章

窪田脩子 大山佳織 大山平一郎 原田哲男 音部幸治

※このコンサートは、福岡市文化芸術振興財団賛助会「わの会」の会費収入により開催しています。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目が変更となる場合がございます。

※お子様もご参加いただけますが、他のお客様の鑑賞の妨げとならないようご配慮願います。

※会場の都合上、座席数に限りがございます。立見となる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

主催 福岡市博物館、(公財)福岡市文化芸術振興財団

お問合せ 福岡市博物館 092-845-5011 (公財)福岡市文化芸術振興財団 092-263-6257



## 窪田 脩子 / ピアノ

福岡女学院中学、高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。第22回 福岡県高等学校音楽コンクールにおいてグランプリ受賞。第24回ソレイユ新人オーディションにおいて音楽現代新人賞(最高位)受賞。同年ウィーンで行われたインターナショナル・アカデミー06'に参加。06' 北九州芸術祭にて県知事賞受賞(ピアノ部門最高位)。12' 同芸術祭において伴奏賞受賞。第36回長崎新人演奏会にてグランプリ受賞。2013年9月には窪田脩子ピアノリサイタルを開催。現在ソロ、室内楽、伴奏等の演奏活動を行うとともに、後進の指導にあたる。

## 大山 佳織 / ヴァイオリン

北九州市出身。ヴァイオリンを篠崎英育、数住岸子、太期晴子各氏に師事、東京音楽大学入学後は、篠崎功子教授に師事。読売新聞社主催北九州市音楽祭ヴァイオリン・コンクールにおいて第2位入賞、毎日新聞社主催ヴァイオリン・コンクール西部大会高校部門で優勝、同年、福岡銀行本店ホールで優勝者記念演奏会で演奏。1992年九州交響楽団入団。1993年日本演奏家連盟主催新人演奏会で九響と共演する。1994年と1998年にアフィニス文化財団主催の音楽セミナーに参加。1995年から2007年まで室内楽“アンサンブル MUTU”のメンバー。2007年にピアニスト石井克典氏と福岡でデュオ・リサイタルを催す。現在、九州交響楽団第一ヴァイオリン首席奏者。

## 黒葛原康子 / ヴァイオリン

熊本市生まれ。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻卒業。第50回全日本学生音楽コンクール福岡大会高校の部第2位、第40回熊本県新人演奏会記念特別賞、第15回京都芸術祭デビューコンサート毎日新聞社賞等を受賞。熊本交響楽団定期演奏会及びヨーロッパ演奏訪問、プラハ室内オーケストラ熊本公演においてソリストとして共演。2011年度より熊本交響楽団コンサートミストレス。近年はピアニスト吉田秀晃氏とのデュオでベートーヴェンのヴァイオリンソナタ全曲演奏に取り組むなど、ソロ、室内楽ともに積極的に活動している。これまでに鶴和美、景山誠治、岸邊百百雄、大山平一郎の各氏に師事。

## 大山 平一郎 / ヴィオラ

米国サンタバーバラ室内オーケストラ音楽監督兼常任指揮者。CHANEL Pygmalion 室内楽シリーズ アーティストティック・ディレクター。Music Dialogue 代表。京都生まれ。両親共に博多出身。1979年にカルロ・マリア・ジュリーニが率いるロサンジェルス・フィルハーモニックの首席ヴィオラ奏者に任命された後、指揮の勉強を始め、1987年アンドレ・プレヴィンに同楽団の副指揮者に任命される。1999年から5年間、九州交響楽団の常任指揮者。2003年に30年に渡るカリフォルニア大学教授を終える。2004年から2008年まで大阪交響楽団音楽顧問・首席指揮者。2007年から3年間ながさき音楽祭音楽監督。2005年に“福岡市文化賞”を受賞。2008年文化庁の“芸術祭優秀賞”を受賞。2014年米国“サンタバーバラ市文化功労賞”を受賞。

## 原田 哲男 / チェロ

桐朋学園大学在学中の1990年に蓼科高原音楽祭奨励賞受賞。同大学卒業後から2年間ドイツのマインツ大学音楽学部に学ぶ。1997年からは米国ダラス市の南メソヂスト大学より奨励金を得て、同大アーティストディプロマコースに入学、同年夏「チェロアンサンブルサイトウ」のメンバーとして日本、ヘルシンキ及びサンクトペテルブルグの世界チェロコンGRESSに出演した。1999年から2012年9月末まで仙台フィルハーモニー管弦楽団首席チェロ奏者を務める。その間、仙台フィルメンバーによるセレーノ弦楽四重奏団のメンバーとして、またプラハ放送交響楽団宮城公演のソリストとして起用されるなど、仙台市を拠点にソロ、室内楽等多彩な活動を行った。森川諄一、木越洋、ユリウス・ベルガー、岩崎洗、クリスティアン・ギガー氏(ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団第一ソロチェリスト)に師事。2013年5月から2016年4月末まで九州交響楽団首席奏者を務め、現在はフリーのチェロ奏者として福岡を拠点に、ソロ、室内楽、後進の指導など幅広く活動を展開している。

## 音部幸治 / コントラバス

広島音楽高等学校、作陽音楽大学音楽学部卒業。コントラバスを、田頭徳治、窪田基の各氏に師事。同校卒業と同時に(公財)九州交響楽団に入団。在学中より幅広い音楽活動を初め、広島平和音楽祭などに参加。2016年7月に九州交響楽団を退団。現在フリーのコントラバス奏者として、後進の指導や、九州各地で演奏活動を行っている。